



平川市では、老朽化し耐震性と機能性に問題を抱える市役所本庁舎の改築を目的とし、新本庁舎建設事業を進めております。

このたび、実施設計が完成しましたのでお知らせします。

市民の皆様が親しまれ、まちの活性化拠点となり、新しい平川市の象徴となることを目指しています。

■ 建築概要

[本庁舎棟]
 建築面積 : 2,687㎡
 延べ面積 : 7,484㎡
 構造・規模 : 鉄骨造・地上4階建 (免震構造)

[車庫棟]
 建築面積 : 880㎡
 延べ面積 : 1,760㎡
 構造・規模 : 鉄骨造・地上2階建 (耐震構造)

■ 事業スケジュール

令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
確認申請等	新本庁舎建設工事	移転準備	開庁 現本庁舎解体工事	外構工事

令和4年(2022年)秋の開庁を目標としております。

■ 概算事業費

総事業費	うち一般財源 ※1	備考
本体事業費 : 約40億1,600万円	約36億1,600万円 (1㎡当たり約48万3000円)	
附帯事業費 : 約22億8,100万円	約19億6,400万円 ※2	
合計 : 約62億9,700万円	約55億8,000万円 ※3	

- ※1 総事業費から国の補助金を控除した金額
- ※2 旧平川診療所・現本庁舎解体、外構、車庫改築及び融雪設備に係る工事費、設計費、備品購入費など
- ※3 財源には旧合併特別事業債(充当率95%、交付税算入率70%)や国の補助金を活用します。



■ 配置計画 不定形で段差のある敷地を一体的に滑らかに整備し、平川の風景に囲まれた緩やかな市民の広場をつくります。

まちにひらかれた、新庁舎の前景となる「ねぶた広場」

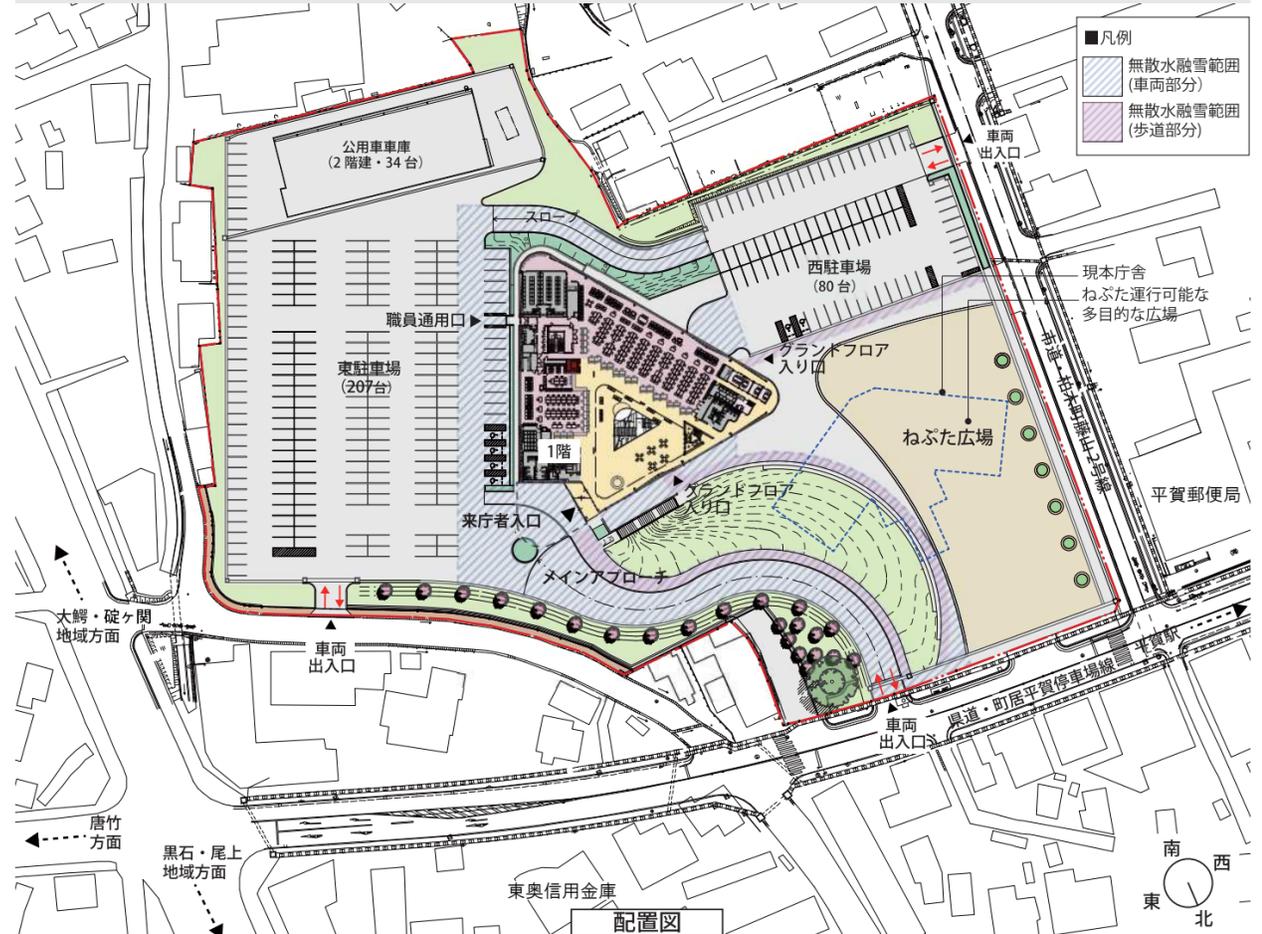
- ・隣接する道路から、歩行者が出入りできる「まちにひらかれた」場所を目指します。
- ・平川市を代表する「ねぶたまつり」から小規模なイベントに至るまで、様々な催しに対応できる広場をつくります。

敷地形状を有効に活用した配置計画

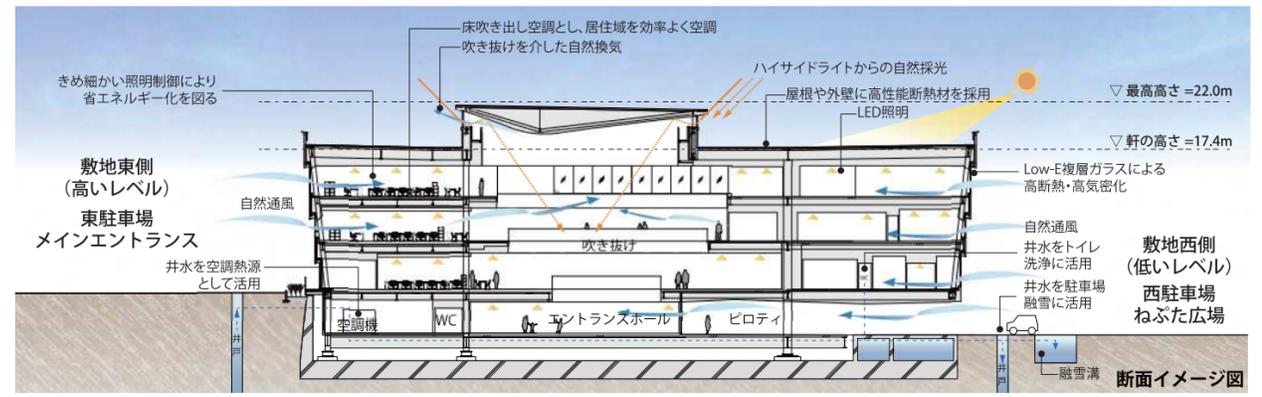
- ・敷地中央に三角形平面の新本庁舎を配置し、敷地東側に約200台のまとまった駐車台を、北西側には市民の憩いの場となるねぶた広場を、南西側には市道とレベル差のない駐車場を設けます。

歩車分離を明確にした安全な動線計画

- ・県道側と市道側に車両出入口を設け、車を利用した来庁者の利便性に配慮します。
- ・県道側からのメインアプローチは緩やかなスロープとし、庁舎1階へ段差の無いスムーズなアクセスを可能にします。
- ・歩行者動線はねぶた広場沿いとメインアプローチ沿いに確保し、車両動線と交錯することなく庁舎内へアクセスできる計画とします。



■ 環境計画 周辺環境との調和を図りつつ、高性能断熱材の採用や最新技術の導入などにより環境負荷低減に配慮した庁舎を目指します。



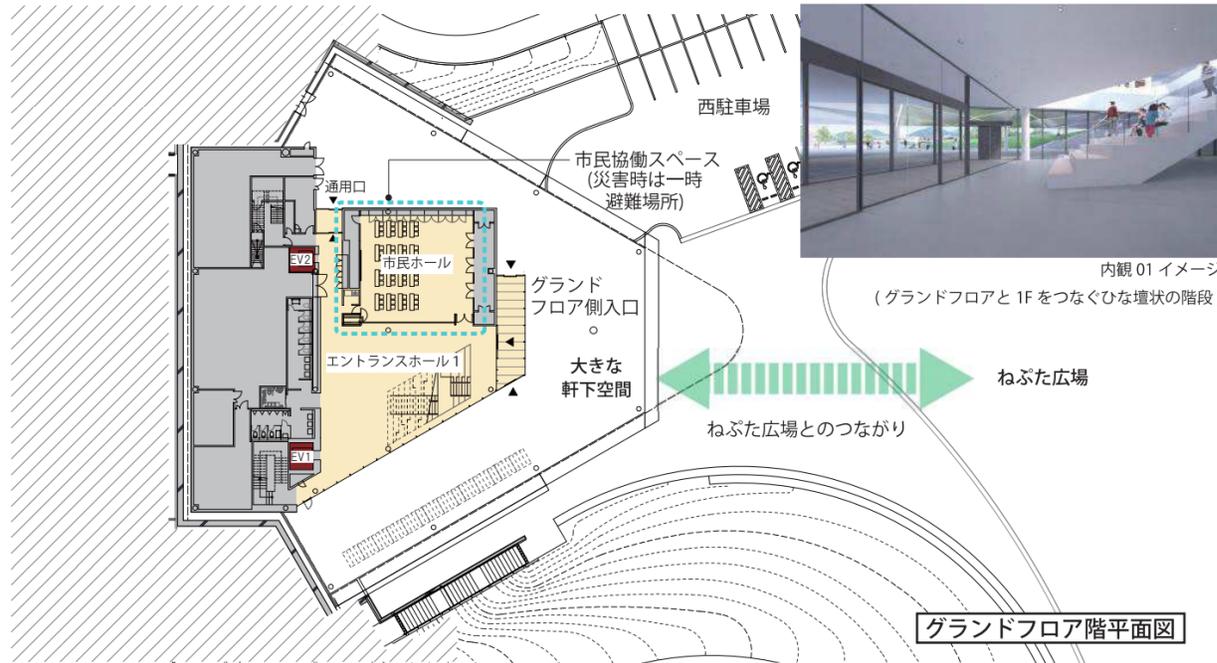
※施工段階で若干変更になる場合もあります。

■ゾーニング計画・動線計画 みんなに優しい窓口業務の実現と賑わいを生む市民利用の実現を目指し、機能性と快適性を両立した柔軟な計画とします。

グランドフロア

～様々な市民活動を支える、賑わいと交流の拠点～

- ・市民活動の拠点となるエントランスロビー
- ・多目的な利用が可能な市民ホール

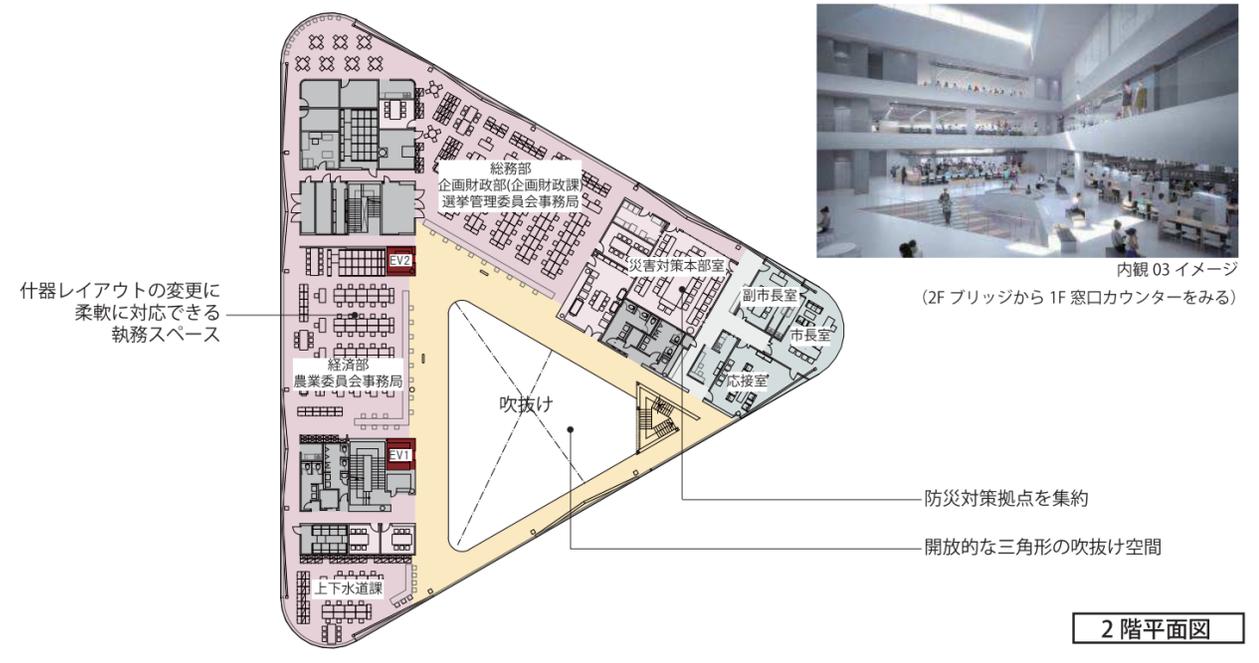


グランドフロア階平面図

2F

～災害時の対策拠点となる 執行部フロア～

- ・災害時の迅速な対応を実現
- ・什器レイアウトの変更に柔軟に対応できる執務スペース
- ・質の高い市民サービスを支えるバックヤード

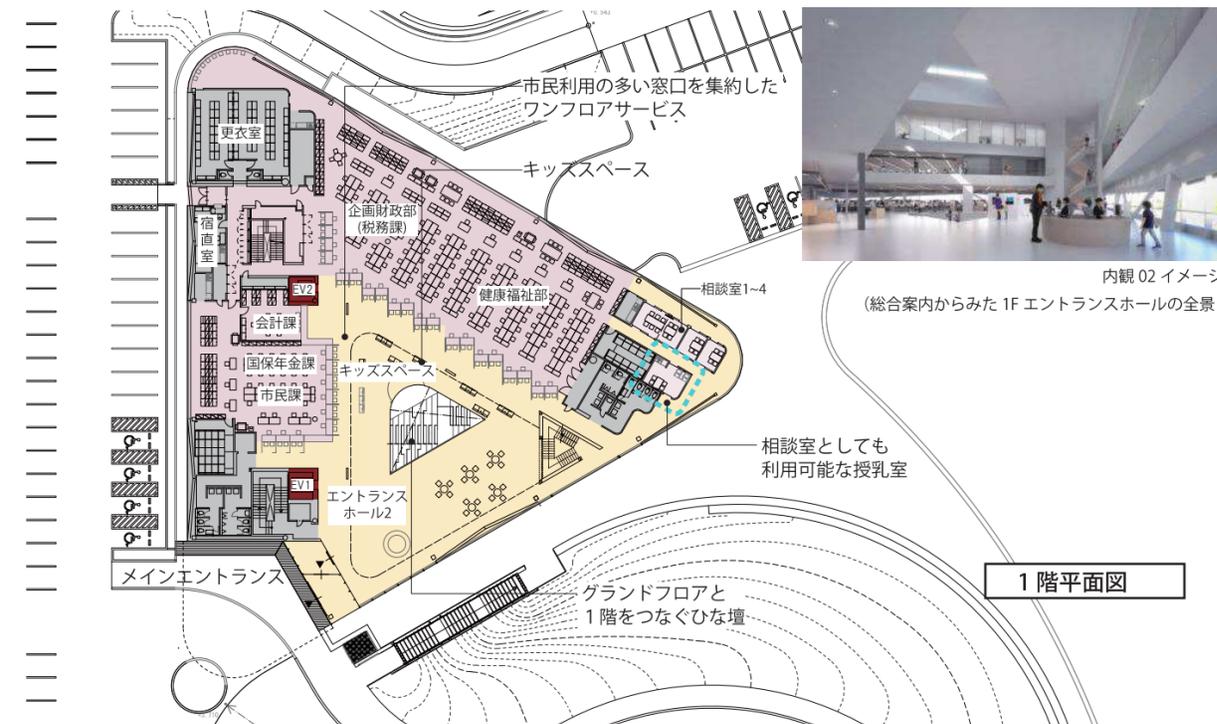


2階平面図

1F

～充実した市民サービスを可能にする部署配置～

- ・ワンフロアサービスを実現する平面計画
- ・市民が自由に集まり賑わいが広がるエントランスホール
- ・人にやさしい、市民が利用しやすい庁舎

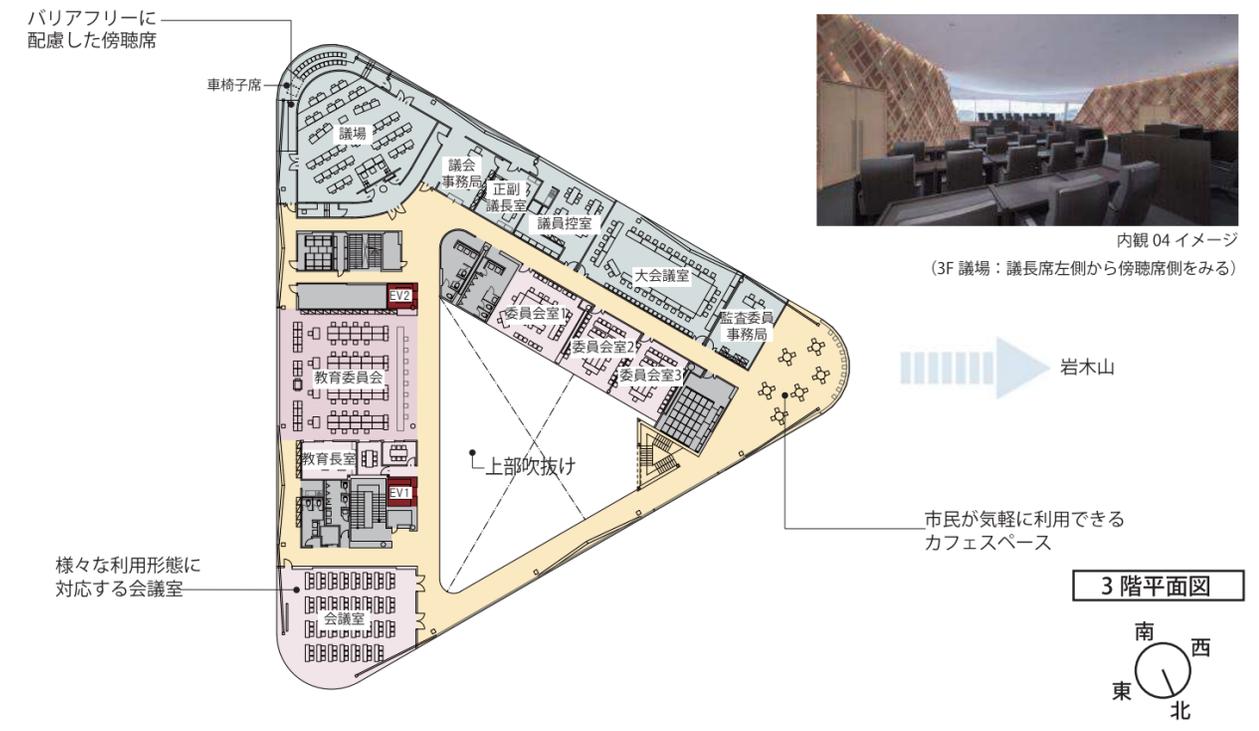


1階平面図

3F

～市民開放と独立性を両立する議会フロア～

- ・市民が気軽に利用できるカフェスペース
- ・市民に開かれた議会、傍聴しやすい議会
- ・議決機関としての独立性



3階平面図

※施工段階で若干変更になる場合もあります。